

高橋 淳 県政報告 <第8号>

山形県議会議員 高橋 淳事務所 発行日:2025年3月28日

〒999-7601 山形県鶴岡市藤島字古楯跡 100-1 ※日頃の活動はホームページ及びFacebookより➡

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732 Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

■山形県議会(県政クラブ執務室)TEL:023-630-3211(4階受付)

【令和7年度県議会 所属委員等】○商工労働観光常任委員会/○予算特別委員会/○再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会(副委員長)



ごあいさつ

東日本大震災発生から今年で14年目を迎え、山形県議会常任委員会でも犠牲者を追悼する黙とうが行われました。

今後も被災地の方々に寄り添いながら、あの日の教訓を次の世代に継承していくことが極めて重要であります。そして、今も本県に避難されている方も多く、真の復興に向けて心安らく時間を取り戻されることを心より願っているところです。



山形県では、昨年の7月25日から7月26日にかけて、大雨特別警報が7市町村に発令され、記録的短時間大雨情報も2市町で発表されるなど、これまでに経験したことのない大雨に見舞われました。救助に向かう途中に殉職された警察官や豪雨災害によってお亡くなりになられた方もおり、本県に甚大な被害が発生しました。

災害発生以降、地元庄内地域での現地調査、知事等との災害現場対応をはじめ、農林水産常任委員会での災害調査、ボランティア支援活動などにもお伺いしたところですが、この度の大雨災害によりお亡くなりになりました方々へ哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われました皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

併せて、日々、災害復旧に当たられている方々の健康と安全作業はもちろん、被災された皆様方の生活再建と地域の復旧復興が一刻も早く進むことを心よりお祈り申し上げます。

今般、令和6年度における県政活動と予算特別委員会(総括質疑)などの一部をご報告させていただきますが、今後も、県民の皆様
の安全・安心な暮らしを守るため、地域に寄り添い、県政の課題解決に向け、「県民視点」を重視した政治活動を行って参りますので、
引き続きご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

山形県議会議員 高橋 淳

令和7年度山形県一般会計 当初予算総額 6,754 億円(経済対策 635 億円)!!

令和6年度2月補正予算案(現年度)の概要は、①物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援、②避難所用テント式パーティション整備を含む災害・諸課題への対応等、③国庫内示に伴う公共事業の追加等などや執行実績等に基づく減額等により、一般会計補正後予算額 7,326 億 2,600 万円を本会議で可決しました。

<令和6年度2月補正予算案の主な事業の概要>

※生活困窮者等に対して食料品等を提供するフードバンク活動への支援や家庭、事業所における再エネ設備等の導入への支援(太陽光発電蓄電池設備、木質バイオマスストーブ等)、省エネ家電買換えキャンペーンの実施、学校給食の食材購入費の上昇分の助成、防犯用品購入キャンペーンの実施、医療機関・社会福祉施設への物価高騰支援、中小企業まるっとサポート補助金や電気料金高騰支援(特別高圧受電)などです。 ※詳しくは山形県 HP をご参照ください。



そして、令和7年度一般会計当初予算案(新年度)は、「やまがた みらい共創 予算」とし、総額 6,754 億(経済対策635億円)です。大きな柱としては、①中長期を見据えた「人口減少対策」の強化、②時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」、③様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」です。

今定例会で吉村県知事から追加議案と人事案件(選任・任命)が提出され、平山副知事の辞任に伴い山形県環境エネルギー部長の高橋徹氏、併せて、任期満了を迎える山形県教育長の後任として前山形東高校長の須貝英彦氏、代表監査委員の後任としては山形県健康福祉部長の柴田優氏の起用が県議会定例会の本会議で承認されました。

知事への政策提言や地域要望の声を県政に!!

今年度は、長引く物価高騰や大雨被害は勿論、西郷砂丘畑振興会及び鶴岡市農業協同組合ネットメロン専門部等からの松くい虫被害木、自治会などからの河川工事、歯科医師会からの歯科口腔保健向上などのご要望をいただき、多くの現場での調査研究や関係機関との協議・調整を図りながら、県・市などに要望書を提出したところです。引き続き、地域の声を県政に反映させるため、次年度に向けた調査研究、要望活動などを実施してまいります。



なお、新年度予算案については、昨年度にプロジェクトを立ち上げた、県政クラブ「やまがた農林水産所得向上・元気戦略会議」(座長:高橋淳)での知事への政策提言(スピードスプレーヤ導入等)。

そして、予算特別委員会での質疑内容等(警察車両 SUV の整備、看護師2交代制勤務の導入に向けた試行の実施など)。併せて、知事へ提言した「やまがたフルーツ 150 周年事業」(やまがた紅玉の学校給食での提供)が新規事業として盛り込まれました。

予算特別委員会の総括質疑について!!

県議会 9 月定例会での予算特別委員会(10/1 総括質疑)の冒頭の挨拶で、「近年は頻繁に豪雨災害が発生しており、そして、県内は中山間地域も多く、大雨や大雪が降った場合など、多少ぬかるんだ悪路でも活躍できるランドクルーザーなどのジープ型(SUV)の警察車両も必要と思われる。是非、今定例会や新年度予算においても十分御検討いただきたい。」旨の意見・提言を述べさせていただきました。

※尚、議会運営委員会でも同様のご意見等を頂いたところです。

○質問項目及び質問・答弁を一部抜粋

1 県職員の人材確保について

(1) 知事部局における人材確保について

(2) 県立病院における看護師確保について

(3) 県立病院における看護師の勤務形態について

質問抜粋

高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化していく中、県立病院において看護師をどのように確保し、質の高い看護を提供



し進めていくのか。併せて、未だ山形県では約6割近くが3交代勤務であり、看護職員の方からも夜勤・交代制勤務を見直していただきたい旨のお話を数年前からいただいている。

全国的に最も多く適用している夜勤形態の2交代に向けてどのように捉えているのか。

答弁抜粋

県立病院が働く場として選ばれるためには、一人ひとりの看護師が意欲を持って活躍できる環境づくりが重要であるため、県立病院では、キャリアに合わせた能力開発支援に取り組んでいる。また、採用した看護師へのアンケートから、研修・教育制度の充実が決め手となったとの声が多く聞かれることから、さらに充実を図り、こうした取り組みをしっかりとアピールしていく。

また、県立病院は、御指摘のとおり、現在3交代制としており、若い職員の中には、まとめて休暇を取りやすい2交代制を希望するという声も聞いている。また、体力に自信がない職員や年齢が高い職員などからは負担が大きくなるといった意見もある。

それぞれにメリットやデメリットがあるので、今後、早急に病院事業局内で勉強会を積み重ねて比較検討を行うとともに、2交代制を導入している他病院の詳しい状況を調査しながら、勉強し検討を進めていく。

2 山形県のスポーツ振興の考え方について

3 県外志願者の積極的な受入れに向けた県立高校の魅力発信について

4 県職員の情報発信に対する意識醸成について

5 庄内圏域における水道広域化について

(1)水道広域化の推進状況について

(2)水道事業の垂直統合に向けた考え方について

質問抜粋

垂直統合に向けての企業局の基本的な考え方はどうか。また、垂直統合にあたっての課題についてどう捉えているのか。

答弁抜粋

水源での取水から住民などへの供給までを一経営体が担うことで、コストを大幅に縮減でき、水道料金の上昇を抑えるメリットがあり、現在、課題の整理・検討および市町と協議を進めている。

また、垂直統合に当たっては、2市1町が設立する企業団へ事業を譲渡することになるため、譲渡後の組織人員体制の検討や、企業団が行う庄内南部と北部を結ぶ連絡管整備への必要な助言を行っていく。

※県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することが出来ます。なお、スマートフォンからもご覧いただけます。

○山形県議会インターネット中継・録画 [山形県議会](#) [検索](#)

農林水産常任委員会で現地調査実施!!

農林水産常任委員会では、7月25日から大雨による農林被害現地調査等を実施いたしました。

調査先は、鶴岡市の大豆圃地の浸水被害をはじめ、トルコギキョウなどの花きハウス、カントリーエレベーター、水路の流木、土砂堆積、揚水機場等です。

また、10月中旬には鶴岡市岡山において、経営体育成基盤整備事業(ICT 活用モデル)による3次元起工測量やICT建設機械施工、また、農業総合研究センター水田農業研究所での水稻主力品種の育成、イネゲノム情報を用いた選抜手法及び高温に対する品種の開発状況について調査したところです。



河川整備促進等の要望書を県側へ手交!!

昨年大雨災害により藤島地域の「千原・関根集落」においては、河川堤防越水により住宅の床上・床下浸水の被害が十数戸発生し、年末に東栄地区町内会会長・自治振興会等と共に、庄内総合支庁の建設部長に要望書を手交しました。また、1月13日には、「三和集落」などの町内会長と庄内総合支庁に要望書を手交したところです。



※昨春には温海菅野代などの河川浚渫工事を終え、今春は、河川整備単独事業(緊急浚渫推進)における藤島川(鶴岡市古郡)、角田川(鶴岡市西荒屋)などの河道掘削が行われる予定となっています。



「最上川下流・中流緊急治水対策プロジェクト」

11月29日に最上川流域治水協議会で公表した「最上川下流・中流緊急治水対策プロジェクト」については、政府の補正予算成立や災害査定を終了を踏まえ**事業費(国:約450億円程度、県:約200億円程度)**を明示し、改めて公表しました。

